

ASAHI INTECC GROUP INTEGRATED REPORT

2024

朝日インテックグループ
統合報告書 2024

 朝日インテック株式会社

東京証券取引所プライム市場
名古屋証券取引所プレミア市場

証券コード：7747

〈発行日〉2024年11月14日

Your dreams. Woven together.

1本のワイヤーでお客様の夢を実現すること、それが私たちの使命です。

企業理念と パーパス

Corporate Philosophy
& Purpose

企業理念

我々は、医療及び産業機器の分野において、安全と信頼を基盤とする「Only One」技術や、「Number One」製品を世界に発信し続けることにより、全てのお客様の「夢」を実現するとともに、広く社会に貢献することを目指します。

1. 「**技術の開発**」はわが社の**生命**であり新しい技術、商品の開発に挑戦する
2. 「**顧客第一**」をわが社の**心**として最高の商品、サービスを提供する
3. 「**業績の追求**」こそわが社の**魂**であり企業の繁栄と個人の幸福を追求する

パーパス

世界中の医師やお取引先様のニーズに当社独自の技術力で挑戦し続けることにより、高付加価値な「Number One」製品をグローバル品質で提供し、世界中のお客様の「夢」を実現していきます。常に世界市場を見据え、果敢に挑戦することで、社会の持続的発展に貢献し、グローバルニッチトップ企業であり続けることを目指してまいります。

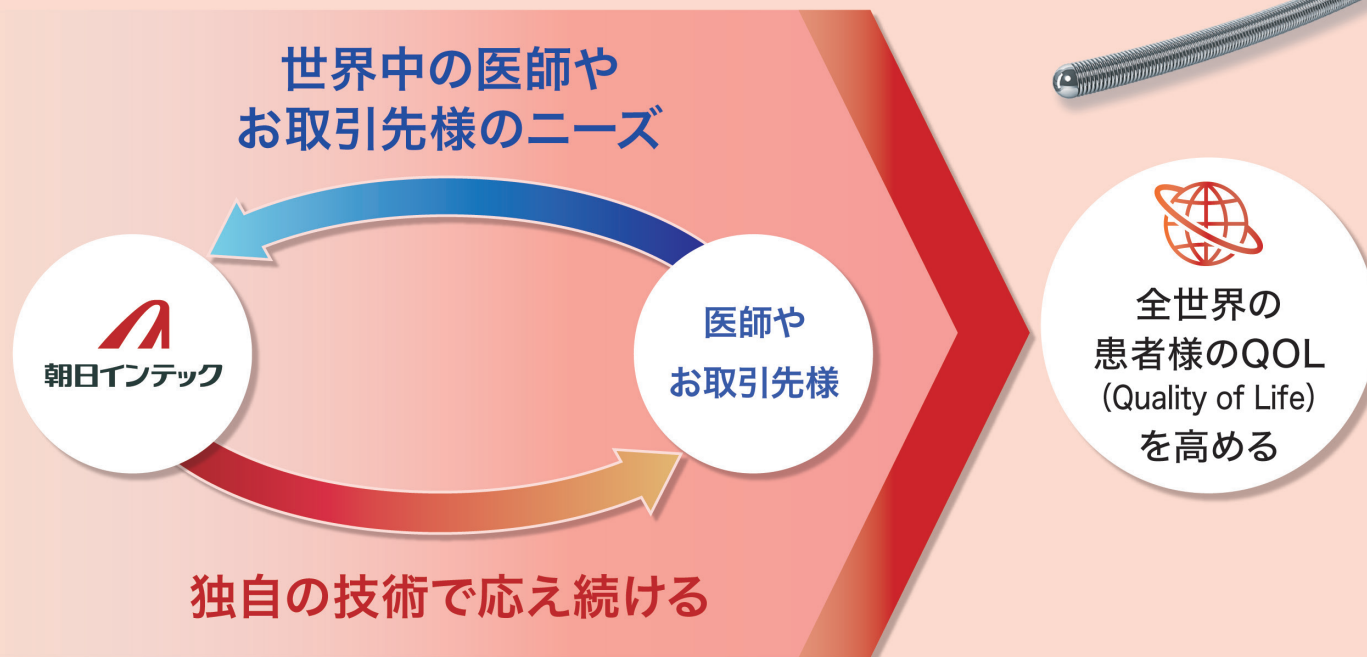
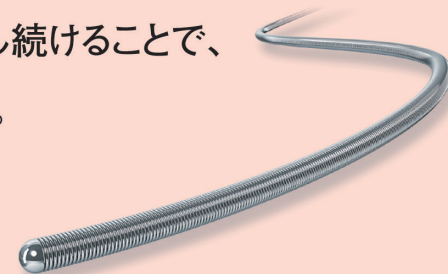
01

存在意義とは

Our Importance of
Existence

医療の未来を、オンリーワンの技術で

1本のワイヤーでお客様の夢を実現すること、それが私たちの使命です。
世界中の医師やお客様のニーズに、当社独自の技術力で挑戦し続けることで、
世界の医療と人々に貢献し続けることが当社の存在意義です。



主力製品は、血管内治療用のガイドワイヤー・カテーテル。
従来、外科手術に頼っていたCTO治療の可能性を開くなど、
高付加価値の製品を生み出し続けています。

※詳細は18ページをご参照ください。

02

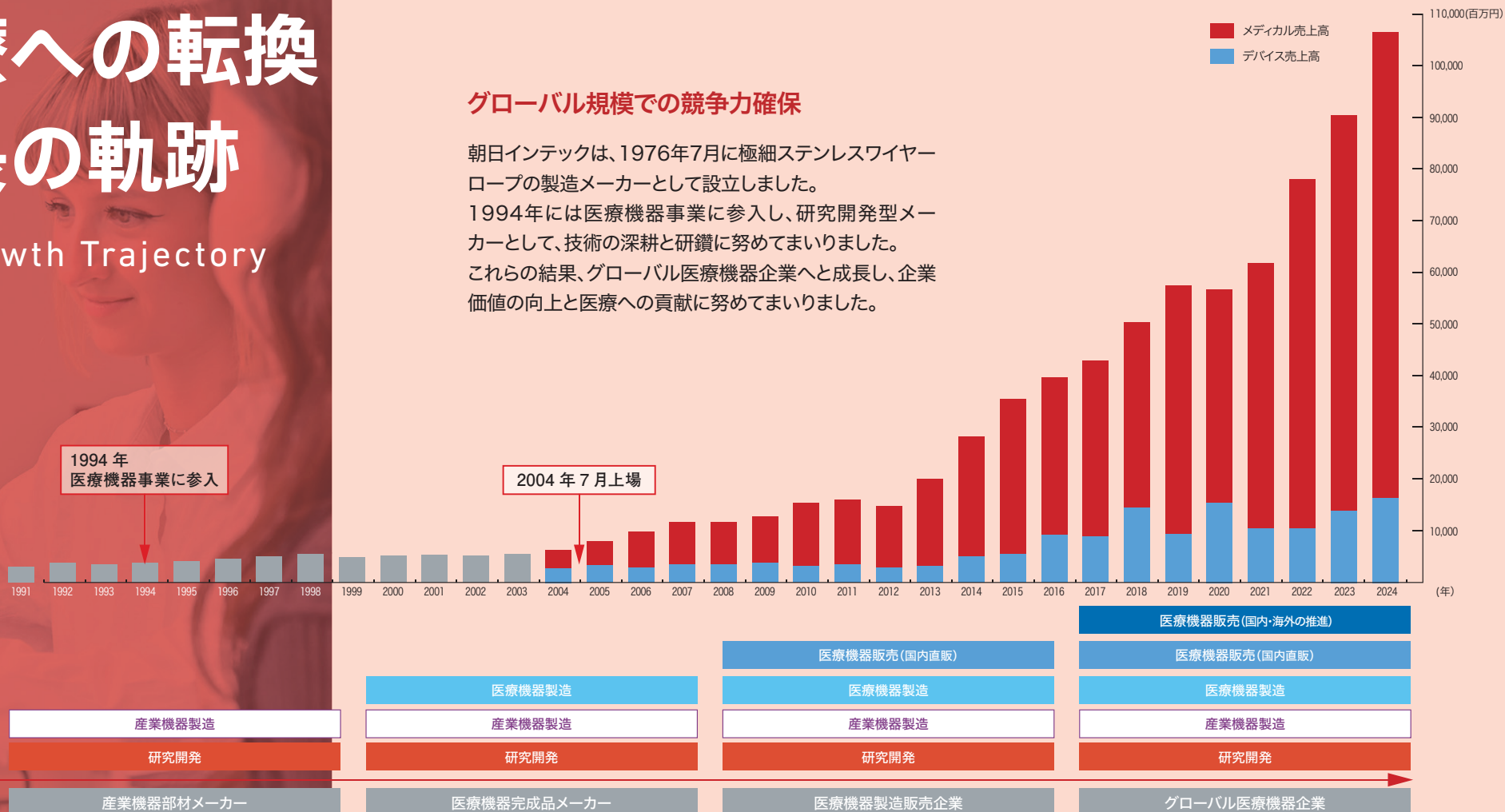
医療への転換 成長の軌跡

Our Growth Trajectory

1976年
設立

1994年
医療機器事業に参入

2004年7月上場



創業当時の産業機器分野で培った高度な極細ステンレスワイヤーロープの技術を活かし、研究開発型メーカーとして、産業部材分野から医療へ進出。グローバル医療機器企業へと成長し、世界の医療と人々に貢献しています。

グローバル規模での競争力確保

朝日インテックは、1976年7月に極細ステンレスワイヤーロープの製造メーカーとして設立しました。1994年には医療機器事業に参入し、研究開発型メーカーとして、技術の深耕と研鑽に努めてまいりました。これらの結果、グローバル医療機器企業へと成長し、企業価値の向上と医療への貢献に努めてまいりました。

※詳細は22ページをご参照ください。

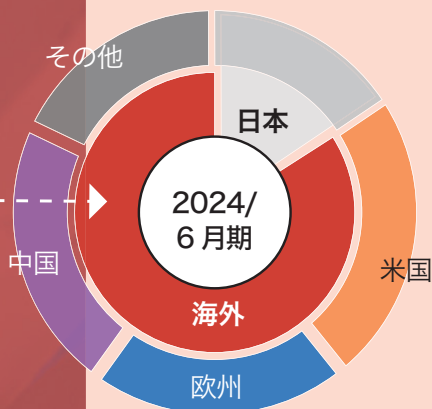
03

グローバルで市場展開

Global Market Expansion



2005/6月期(上場時)
売上高 **78**億円
海外売上高比率 **30%**

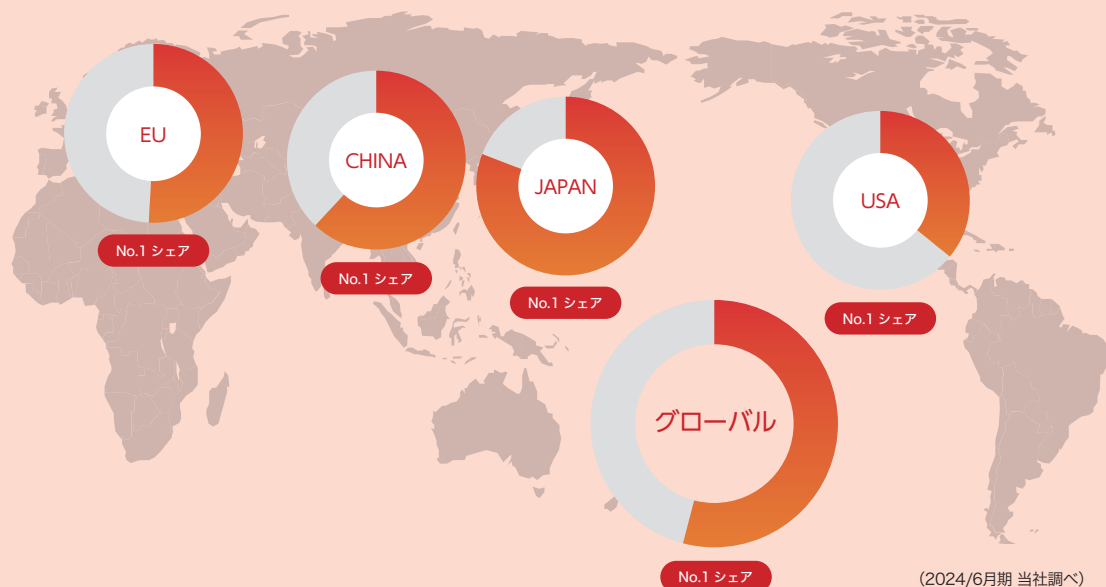


2024/6月期
売上高 **1,075**億円
海外売上高比率 **84%**

医療機器分野における卓越した開発力と製造技術で、世界で高いシェアを誇っています。グローバル規模で伸び続ける成長市場で、シェアを拡大し続けています。

カテーテル治療は、低侵襲治療の広がりによって、新興国を中心に、大きく拡大し続けている成長市場です。こうした時代の流れに適切に対応し、医療に不可欠な高い品質の製品を、安定的に供給していくことによって、グローバル規模での持続的な成長を目指してまいります。

PCIガイドワイヤーの当社シェア



日本・米国・欧州・中国などの全地域においてナンバーワンシェアを確立、また現在もシェアを拡大し続けています。当社製品に対する医師の信頼性が高いことを示しています。

※詳細は29ページをご参照ください。

04

成長を支える 人的資本

Our Human Capital



更なる成長に向け、多様性を理解し、多面的な角度から幅広い視点で物事を図れる人財を育成しており、それが朝日インテックグループの成長につながっています。



求める人物像

ASAHI-DNAを胸に飽くなきチャレンジ精神で夢を叶える。
当社グループのDNAである「チャレンジ」「現場力」「自活力」「グローバルベスト」「創造的ものづくり集団」を基本方針とした価値観浸透と人財育成を推進するため、教育研修制度の構築に取り組んでいます。



※詳細は70ページをご参照ください。

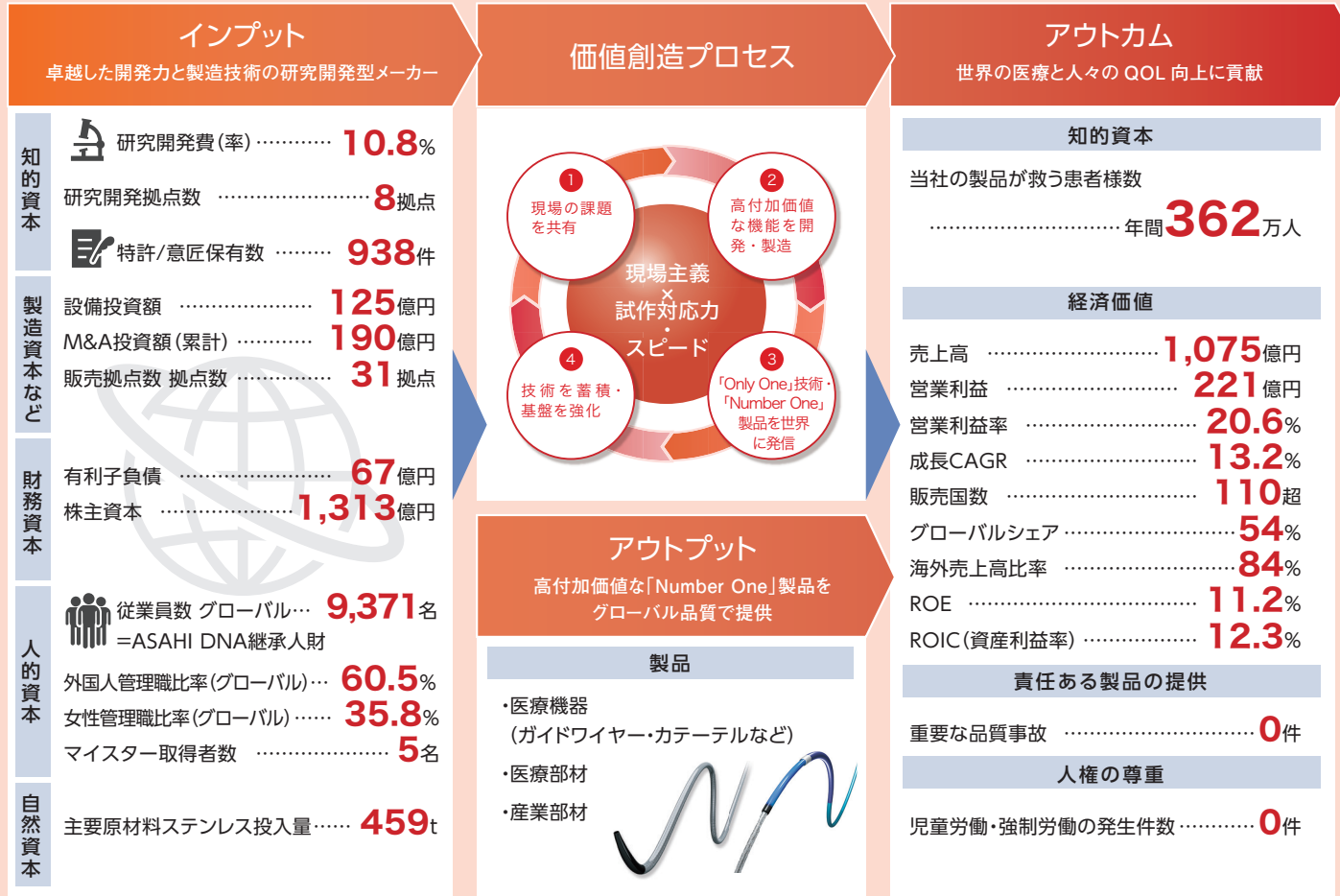
05

価値創造の循環と指標

Value Creation Cycles & Indicators

朝日インテックの価値創造の循環と指標

お客様からの高度なニーズに応える過程で生み出され、培われた技術力その技術力をベースとして、事業を推進し基盤を強化する好循環に取り組むことで、継続的な企業価値向上と、社会全体のサステナビリティ推進に貢献していきます。

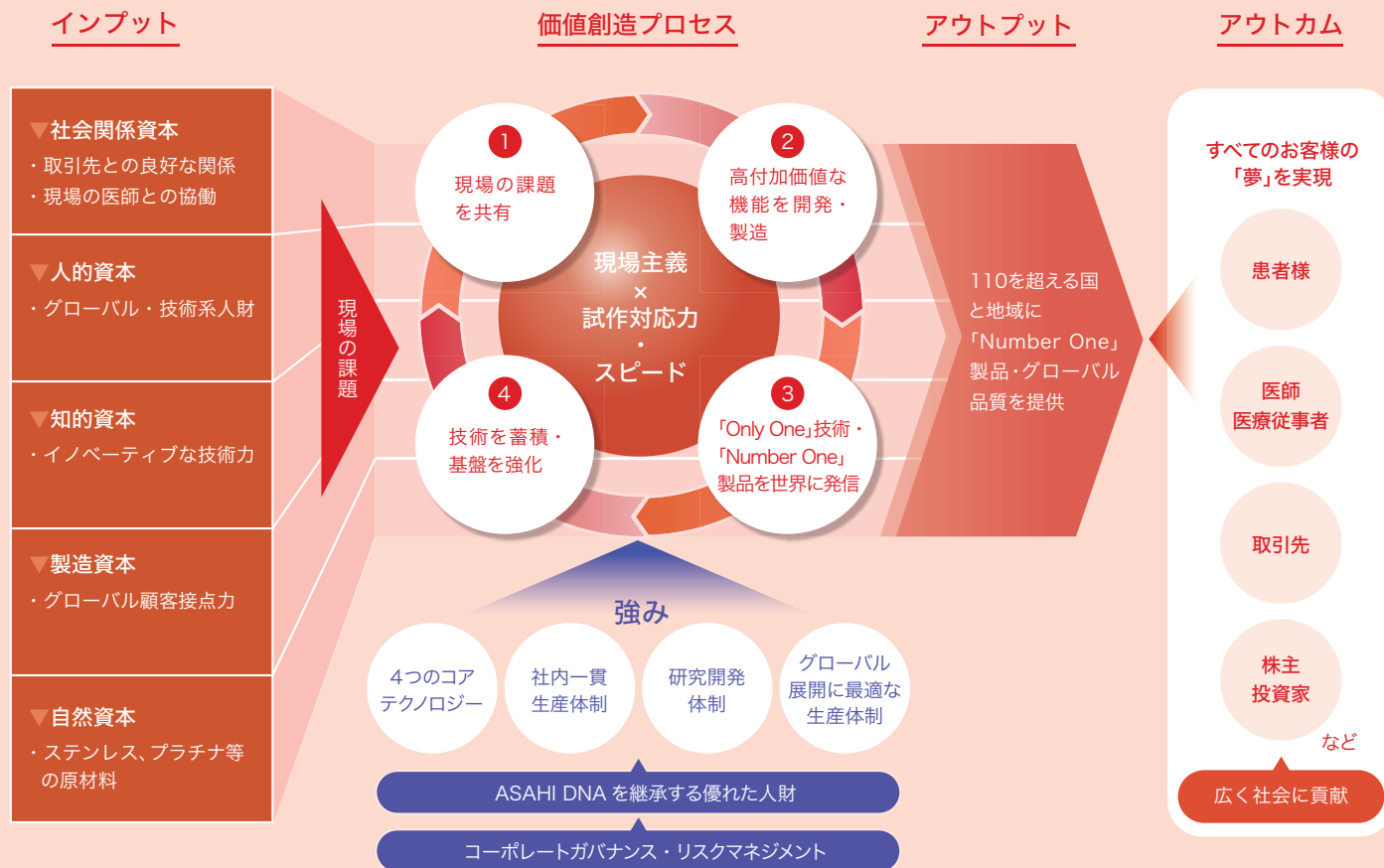


06

価値創造 プロセス

Our Value Creation
Process

世界中の医師やお取引先様のニーズに当社独自の技術力で挑戦し続けることにより、世界中のお客様の「夢」を実現します。



※詳細は17ページをご参照ください。



イントロダクション

企業理念とパーパス 01

存在意義とは 02

医療への転換／成長の軌跡 03

グローバルで市場展開 04

成長を支える人的資本 05

価値創造の循環と指標 06

価値創造プロセス 07



第1章 会長・社長対談 09

社長メッセージ 10

会長・社長対談 12



第2章 価値創造ストーリー 16

価値創造プロセスと存在意義 17

当社の事業と製品 19

競争力の源泉 20

当社の歴史と変遷 22

環境認識と重要課題(マテリアリティ) 24

重要課題(マテリアリティ)への取り組みと進捗 25



第3章 長期経営ビジョンと中期経営計画 26

長期経営ビジョン 27

中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』 28

・基本方針

1 グローバル市場の戦略的な開拓と患部・治療領域の拡大 29

2 グローバルニッチ市場における新規事業の創出 31

3 グローバル展開に最適な研究開発・生産体制の構築 32

4 持続的成長に向けた経営基盤の確立 33

メディカル研究開発責任者 常務取締役インタビュー 34

メディカル国内営業責任者 執行役員インタビュー 38

第4章 財務戦略 46

CFO・社外取締役対談 47

財務戦略 54

第5章 サステナビリティ 非財務資本の強化 58

イノベーションを通じた現場の課題解決 59

・解決する社会課題と取り組み 60

・社会関係資本の強化 64

・知的資本の強化 66

・製造資本の強化 68

・DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進 69

グローバル人財基盤の強化 70

・人財マネジメント 71

・働きがいのある職場づくり 74

人事担当執行役員・若手社員座談会 84

第6章 サステナビリティ 環境と社会 92

環境負荷低減への取り組み 93

サプライチェーンマネジメント 101

安全・安心な製品の供給 103

社会貢献活動 106

第7章 サステナビリティ ガバナンス 111

社外取締役インタビュー 112

コーポレート・ガバナンス 117

リスクマネジメント 129

コンプライアンス 133

第8章 業績・会社情報 136

財務サマリー 137

非財務サマリー 142

会社・株式情報 144

〈報告対象範囲〉
朝日インテック株式会社および連結子会社

〈報告対象期間〉
2023年7月1日～2024年6月30日
一部内容に当該期間以前・以後の情報も含まれます。

〈参照ガイドライン〉

- ・国際統合報告評議会 (IIRC) 「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 最終報告書」

〈編集方針〉
本報告書は、独自の価値創造を通じて企業価値向上を訴求し、朝日インテックグループの事業、取り組みをご理解いただくことを第一の目的に、投資家・株主の皆様が主な対象者であることを意識して編集しています。タブレット端末やPCからの閲覧を前提とするユーザー視点での編集を意識・改善しました。各事業や経営基盤をESGの統合的視点により、網羅的に解説しています。

〈将来見通しに関する注意事項〉
本報告書における業績予測などの将来に関する記述は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。したがって、さまざまな要因の変化により、実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

〈発行日〉2024年11月14日